

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(水道)水のたいせつ啓発事業			
予算科目	1 款 1 項 4 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 水資源の確保			
所管課情報	担当課:	水道課	電話番号(内線):	713
記入者情報	所属長:	野島 康博	担当責任者:	田中 浩二
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 22 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民(水道利用者)			
根拠法令等	厚生労働省健康局長からの水道週間への協力依頼			
事業の目的	水の大切さを再認識し、水道事業に対する理解の推進を図る。			
事業の内容	全国で実施される水道週間に併せて水道に関する市民の関心を深め、水の大切さを認識してもらうよう、ひとり暮らし高齢者の給水装置無料巡回点検サービスの実施及び広報誌やホームページでの節水に対する啓蒙・啓発活動を実施する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	広報誌、ホームページ等で水の大切さを広く市民に認識してもらえるよう広報活動に努める。			
改善策の 具体的 取り組み	水源地情報については、ホームページの情報更新が遅れないようにする。			

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	208	267	264	264
	人件費	813	636	636	636
	合計	0	903	900	900
人件費 内訳	人工数	0.10	0.08	0.08	0.08
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	813	636	636	636
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,021	903	900	900

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
水道週間巡回点検サービス件数	戸	63	50	33	33

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	200	200	200	200	0	800

成果指標				
成果指標	給水装置点検サービス実績数量のみを記載する。			
指標設定の考え方	本事業の活動内容は広報や利用者サービス等多岐にわたり、給水装置点検サービスを活動の指標とするが、要望に基づく事業実施であるため、事前に目標値を設定することは困難である。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	0	0	0
実績	63	33	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>水道は日々の生活はもとより経済活動に欠かすことのできない重要なライフラインの一つであります。市においては、水の大切さを認識していただくため、全国で実施されます水道週間に合わせて、一人暮らしの高齢者を対象に給水装置無料巡回点検を実施している。また、ホームページ・広報誌・チラシ等で啓蒙・啓発活動を行っており、より多くの市民に関心を持っていただくよう周知をしている。今後の課題として、イベントや標語・ポスター等など、いつまでも記憶に残るようなアイデアを出しあい、市民全体にアピールできる活動が必要である。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>市民対して、水道の現状や課題について理解を深め、今後の水道事業の取組について協力を得るため、また水の大切さを認識していただくため、全国で実施されている水道週間に合わせて、一人暮らしの高齢者を対象に給水装置無料巡回点検を実施している。また、ホームページ・広報誌等で啓蒙・啓発活動を行っており、より多くの市民に関心を持っていただくよう周知をしている。しかし、期待している程の成果が表れていないことから、今後は、広報活動の在り方や関心を得るようなイベントの開催等の検討を必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	主旨は了とするが、目新しい企画を取り入れるなど、工夫をこらして関心を引く内容にしなければ、単なる事業の実施にとどまる。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。